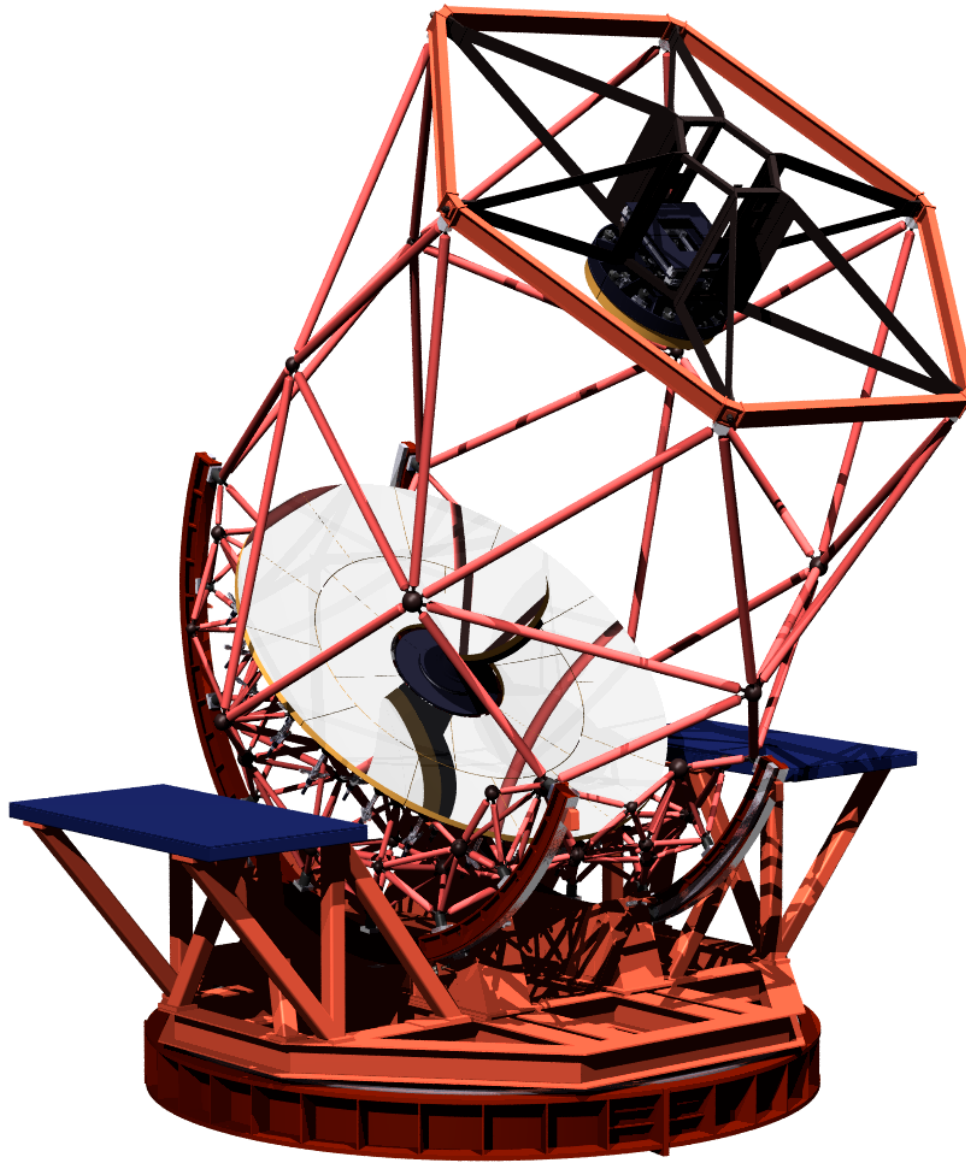


3.8m望遠鏡計画 進捗状況 I



京都大学の動き

京都大学と国立天文台
との間の動き

2013-2014

長田哲也

(京都大学 理学研究科
物理学・宇宙物理学専攻)

プロジェクトの概略

岡山新技術望遠鏡計画とは

- ・国立天文台岡山観測所内に設置する
大学間連携による3.8m望遠鏡
- ・新技術を開発し、研究者を養成する
- ・将来の巨大望遠鏡に至るファーストステップ
- ・民間の資金を受け、4者の連携で製作開始
残りの部分は京大から概算要求

新しい技術

- ・超精密研削による主鏡の製作
- ・18枚からなる分割鏡の制御
- ・軽量架台



京大の動き 2013-2014

2013.2.17(日) - 2.18(月)

日本学術会議公開シンポジウム「天文・宇宙物理分野の将来計画」

2013.5.28(火) - 5.29(水)

日本学術会議公開シンポジウム「天文学・宇宙物理学中規模計画の展望」

2013.6. - 7.

京大から文科省へ、**設備**と**施設**として概算要求提出

望遠鏡は特別経費 基盤的設備等整備分(研究設備)として数億円、**ドーム**は施設として。

2013.12.13

望遠鏡は、平成25年度補正予算 国立大学法人設備整備費補助金として採択 **入札手続き2014.4.- 6.、2015.3に完成。**

2014.5. - 7.

京大から文科省へ、**ドームを 施設**として概算要求提出

京都大学と 国立天文台との間の動き 2013-2014

2013.3.初

国立天文台と京都大学理学研究科の覚書に調印

2013.6.6(木) 9:30-

国立天文台長、副台長、理学研究科長の面談（林、小林、有賀）

2013.6.6(木) 11:00-

国立天文台長、副台長、京大総長の面談（林、小林、松本）

2013.11.1(金)

第1回定例協議会 国立天文台長、副台長、観測所長、事務長と

2014.1.22(水)

第2回、その後も開催予定 2018(平成30)年度からの「共同利用」を